

社会・企業・個人が生み出す“価値”を考えるフリーペーパー

シェアイズム
 『SHAREISM』 創刊

丸の内だから発信できるCSV (Creating Shared Value=共通価値の創造) 視点

創刊日：2012年7月23日 / 発行部数：9500部

配布場所：大手町・丸の内・有楽町エリアの各施設、JR東京駅・有楽町駅 / 発行：エコツェリア協会

エコツェリア協会(一般社団法人 だいまるゆう 大丸有環境共生型まちづくり推進協会)では、「CSV[※]流ライフスタイルの提案」をコンセプトにしたフリーペーパー『SHAREISM (シェアイズム)』を2012年7月23日に創刊します。

エコツェリア協会は、環境に関する社会課題の解決を通して、大手町・丸の内・有楽町（以下大丸有）地区の価値を高め、持続可能な発展（サステナビリティ）を実現するべく活動していますが、本誌は大丸有という“まち”がCSVという考え方と親和性が高いことに注目し制作されるものです。CSVとは本来、企業の事業を通じた社会課題解決を可能とする「社会にとっての価値」と「企業にとっての価値」を両立させる、「共通価値の創造」を主眼においた経営コンセプトのことです。本誌ではその範囲を「個人にとっての価値」まで広げ、社会システム全体において個人が提供できる価値の創造についても考えます。創刊号では、本業の家具作りを通して被災地支援を行うハーマンミラージャパン、車椅子に装着して使う電動アシスト機器「WHILL」の開発者へのインタビューなどを掲載し、CSV視点を持つ情報を提供します。8月29日（水）には創刊を記念して、ハーマンミラージャパン代表取締役社長の松崎勉氏のトークショー[※]を開催予定です。

持続可能な社会の構築に危機感を持ち、「企業はもっと社会に対して価値を生み出せるはずだ」という考えから生まれたCSVを、4000社の企業、23万人の就業者を抱えるビジネスの中心地・丸の内から発信することは、「持続可能な環境共生型都市」を目指す大丸有地区はもちろん、全国、全世界の課題解決の期待に応えるメッセージです。

急速に成長し複雑化する現代。ガバメントソリューション（行政による課題解決）には限界があり、企業やコミュニティによるソリューションが強く求められています。エコツェリア協会では、『SHAREISM』を通してCSVを浸透させること、大丸有地区の企業、就業者、来街者が電子マネーのSuica、PASMOを使うだけで環境貢献できる「エコ結び[※]」のようなCSV的発想のプロジェクトやCSVの価値観を軸としたライフスタイルの提案を行うことに、今後も積極的に取り組んでいきます。

CSVとは

CSV (Creating Shared Value) は、企業の競争戦略論の権威であるハーバード大学のマイケル・ポーター教授が提唱した経営コンセプトのこと。具体的には、①「社会課題を解決する製品・サービスの提供」②「バリューチェーンの競争力強化と社会への貢献の両立」③「事業展開地域での競争基盤強化と地域への貢献の両立」の3つのアプローチがある。①では、低炭素化を実現する商品開発の事例としてハイブリットカーの開発、②の例としては、途上国における貧困とインフラ不足の解消という「社会にとっての価値」と、高品質原料の安定調達、途上国の購買力向上による市場拡大という「企業にとっての価値」を両立させた、食品メーカーの途上国事業モデルなどが挙げられる。

エコ結びとは

大丸有地区の「エコ結び」加盟店でSuicaやPASMOを使って買い物をすれば、決済額の1%が自動的に基金としてたまる仕組み。基金は植樹活動等に使われ、Suica、PASMOをショッピングに使うだけで地球環境に貢献できる。これまでエコツェリア協会では、加盟店情報誌『Musubi Times (ムスビタイムズ)』を発行し環境貢献の考え方を伝えてきたが、『SHAREISM (シェアイズム)』の創刊により統合される。



「Shall we enjoy SHAREISM?」トークショー：8月29日（水）18：15-19：30 @ニッセイライフプラザ丸の内（日本生命丸の内ビル地下1階）

おもな内容

●創刊によせて： 編集長・中嶋美年子（エコツェリア協会）より

●A pioneer's Talk

ハーマンミラー・ジャパン 松崎勉 氏 「企業人の枠を超えてつかんだもの、それは、MEANING」

●Creative Style ～New generation talk～

WHILL 杉江理 氏

●Shareismは体が資本！Try as hard as you can ●丸の内七福神 ●エコ結びの紹介&ショップ情報



媒体概要

- ◆媒体名 : SHAREISM（シェアイズム）
- ◆創刊日 : 2012年7月23日
- ◆発行部数 : 9500部
- ◆価格 : 無料
- ◆判型 : A5変形（210mm×99mm）、中とじ、表4折り返し 全18ページ
- ◆発行時期 : 年4回（7月、10月、1月、4月）予定
- ◆配布場所 : エコ結び加盟店が入店する大丸有エリアの商業施設、JR東京駅・有楽町駅
- ◆発行 : エコツェリア協会（一般社団法人大丸有環境共生型まちづくり推進協会）
- ◆発行人 : 井上成（エコツェリア協会専務理事） ◆編集長 : 中嶋美年子（エコツェリア協会）

エコツェリア協会とは

大丸有エリア内外の企業や市民間の連携や協働、横断的な産学連携を促進しながら、環境共生型のまちづくりに貢献する事業を推進・支援する公益的な法人です。会員で形成する企業コミュニティ「丸の内地球環境倶楽部」をベースとして、環境に関する情報共有、共同でのマーケティングや実証調査等の活動の推進、環境セミナーやイベントの開催などを通して、「環境文化」の創造をめざしています。おもな取り組みに「丸の内朝大学」「大丸有打ち水プロジェクト」「大丸有エコキッズ探検隊」があります。